

活動計画書

(第 25 期)

自 令和 8 年 4 月 1 日
至 令和 9 年 3 月 31 日

(2026 年度)

特定非営利活動法人
地域総合スポーツ倶楽部・ピボットフット

東京都大田区西馬込 2 丁目 3 1 番 3-103 号

2026年度 活動計画書

NPO 法人地域総合スポーツ倶楽部・ピボットフット

I. 基本方針

- (1) 大田区中学校運動部活動地域連携・地域展開事業の推進
- (2) 大田区中学校施設開放事業の推進
- (3) 非営利活動の充実と収益事業の確立による安定的な経営
- (4) 民間企業との連携協働での事業展開
- (5) 組織の充実と人材育成の強化
- (6) 地域社会や関連団体との連携・協働の強化充実
- (7) 組織ガバナンスとコンプライアンスの徹底

II. 重点課題

- (1) 大田区中学校部活動地域連携・地域展開事業の推進
- (2) 大田区内全中学校の施設開放事業の推進
- (3) 安定的な財務基盤としての既存事業の充実と新規事業立ち上げ
- (4) 民間企業や他分野 NPO 等との連携協働での収益事業の拡充
- (5) 行政機関との連携で地域スポーツの振興と街づくり
- (6) (一社) おおたスポーツコミッションとの連携強化
- (7) 都立高校と協働で地域スポーツの振興の充実

III. 事業内容

1. 事業企画

- 1) 大田区中学校部活動地域連携・地域展開事業の推進
- 2) (一社) おおたスポーツコミッションと連携した「Ota Sports United Project」の実現と中学校施設開放事業の推進
- 3) 基幹事業であるスポーツ教室の充実と新規教室の開発および専門ソフトの開発と事業化
- 4) ヤマトホールディングス(株)が羽田に展開する地域社会貢献型施設クロノゲートフォーラム運営でスポーツを軸にした地域活性化を協働推進
- 5) 都立蒲田・雪谷高校との連携協働で運動施設の有効的活用および蒲田高校エンカレッジスクール支援との有機的連携により地域に密着した事業の推進
- 6) 地域イベントやセミナーの開催に当って、主に(一社)大田観光協会や大田区商工会議所および大田区スポーツ推進担当や(公財)大田スポーツ協会との共催・協働事業として地域とのさらなる共生を目指し、より観光資源としての価値を確立

(1) **中学校運動部活動地域連携・地域展開事業の推進**

- 1) 対象学校 大田区立大森三中、四中、六中、十中、志茂田中、馬込中、羽田中、貝塚中、田園調布中、石川台中の10校
- 2) 種 目 バスケットボール、バレーボール、バトミントン、卓球、チアリーディング、野球、陸上、ソフトテニス、サッカー、ソフトボール、硬式テニス、吹奏楽、OTAダンスの13種目
- 3) 指導員 51人
- 4) 活動時期 2026年4月1日より2027年3月31日
- 5) 業務内容 指導員51人の派遣と管理及び担当部活動のマネジメント
- 6) 提 言 事業を通して地域移行による地域振興への提言を行う

(2) **学校施設開放事業**

- 1) 大田区内全中学校28校の受付・申請のオンライン化
- 2) 区内総合型8スポーツクラブとエリアマネジメント体制の構築
- 3) 2026年5月から2027年3月31日
- 4) 2027年度以降のシステム強化と小学校への展開準備

(3) **教室事業**

1) **バスケットボール**

小中学生教室および成人向け教室のさらに質の向上を図る。育成部門の運営に強化のテーマを検討する。

- ① 小中高校・一般で大田区内に7クラス運営で各2回/月の開催
- ② おおたスポーツコミッションと連携してバスケットボールアカデミー及びU15編成を拡充する

2) **テニス**

小学生から成人までが楽しんでテニスの基本を学べる教室運営を目指す。

- ① 初級・中級クラスを日曜日の午前中で2回/月の開催
- ② 上級クラスの運営支援
西尾プロとの提携での教室運営支援

3) **健康体操教室**

健康管理及び増進を目的とし、気軽に、楽しく誰でも参加でき、参加者皆で支える教室として安定的な運営を目指す。

- ① 原則毎週金曜日午後、4回/月の開催
- ② 協力：利根川Kスタジオ

4) チアリーディング教室

幼稚園児から一般までがチアを通して体を楽しく動かすことやチアの基礎を学べる教室運営を目指す。また、地域の活性化のための地域イベントや地元トップチームの応援に積極的に参加する。雪谷地区インフニティ、スパークル選抜チームの強化育成とシルバーチームの編成で競技会参加を行う。

- ① 雪谷地区（ビッキーズ8クラス）、出雲地区（ビリーブス3クラス）、池上地区（タートルズ2クラス）、六郷地区（チップマンクス2クラス）

i 原則各4回/月の開催

ii 地域イベントや競技大会への積極的な参加とPR

iii 大会出場チームの強化や合宿を計画し競技会及び世界大会への挑戦

5) クロスミントン教室

日本初大田区発祥ニュースポーツとしてのクロスミントンを日本協会と連携して普及を目指す。大田区で定期的な国際大会を開催しその運営と国際交流、スポーツツーリズムとして観光協会、旅館組合等との連携する

- ① 原則土曜日夜間で2回/月の開催

i 協力：(一社)クロスミントン協会

6) ジュニアビートフィットネス教室（エアロビック）

嵐やAKB48のビートに乗ってスポーツエアロビック・マット運動、ダンスミックスで楽しく安全に運動の基本を提供する

- ① 原則月曜日夕方3回/月の開催

i 地域イベントへの積極的な参加とPR

ii 協力：OKJエアロビックファミリー

7) リズムダンス教室

ヒップホップを中心したリズムダンスで楽しく身体を動かすリズムダンスの基本基礎をわかり易く提供する

- ① 一般・ジュニア教室（蒲田地区）、ジュニア教室（羽田地区）、ジュニア教室（大森地区）

i 原則各3回/月の開催

ii 強化クラスの充実、国際大会への参加

iii 地域イベントへの積極的な参加とPR

iv 蒲田高校・蒲田中学と連携した蒲田ダンスカーニバルを開催

8) 機能改善教室

運動の習慣化と健康向上に貢献することを目的とする

健康体操の基本・基礎動作の指導を提供する

- ① 羽田教室 原則4回/月の開催

9) 大人のためのバレーストレッチ教室

ラジオ体操から始めるゆったりバレーストレッチ
専門インストラクターによる指導を提供

- ①原則火曜日午前で4回/月の開催
i 協力：日本スポーツ文化創造協議会
- 10) 忍者ナイン教室
新しいカタチの運動メソッド、9つの運動能力を育てる
忍者の世界観で楽しく行える運動を提供します。
 - ①道塚教室・池上教室・萩中教室
i 原則各3回/月の開催
ii 協力：(株)拓人こども未来
- 11) ランニング教室
プロアスリートの指導でかけっこの基本とコツを学び
タイムの短縮を目指します。
 - ①雪谷教室・馬込教室
i 原則各3回/月の開催
ii 協力：0.01SPRINT PROJECT
- 12) SPAS かけっこ教室
最新テクノロジー/科学の力で走り得意にする
 - ① 道塚教室 原則3回/月の開催
i 協力：(株)スポレングス
- 13) フライングデスク教室
フライングデスクで楽しく遊ぶ
 - ① 都南教室 原則2回/月の開催
i 協力：大田フライングデスク協会
- 14) バスケットボールアカデミー
バスケットボールの普及とレベルアップに貢献する。子供達
にプレーする場所を提供する
 - ①羽田教室 原則2回/月の開催
i 協力：東京羽田ヴィッキーズ
- 15) ヨガ教室
楽しみながら健康増進に向けたヨガ
 - ①羽田教室 原則4回/月の開催
i 協力：オーハナヨガ
- 16) ラグビーアカデミー
タグラグビーを中心に運動習慣と体力増強
 - ①雪谷、千鳥、大森、出雲、親子、手話教室
原則各3回/月の開催 手話教室のみ1回/月の開催
i 協力：東京ガスラグビー部、大田東京ラグビーアカデミー
- 17) Biima sports
21世紀型総合キッズスクールbiima sportsと提携して早稲田大
学のイベントを基に幼少期における基礎運動能力向上に貢献する
 - ①雪谷教室 原則3回/月の開催
i 協力：(株)biima

18) バトミントン教室

バトミントンの素となる色々な運動経験を通して心身の健全な発達育成を促す

- ① 蒲田教室 原則2回/月の開催 初級・中級クラス
i 協力：(一社) スノークリスタル

19) プレイングリッシュ

ゲームをしながら英語が学べる

- ① 小中学生向け新時代型オンライン英会話スクール
i 協力：(株)X Anchor、(株)加登屋

20) 辻 白楊書道教室

ピボットフット初めての文化教室

書道を通して書の礼儀と規律を学び日本の心を豊かに表現できる子供を育てる

- ① 雪谷教室 水曜日 原則3回/月の開催

21) 学習支援教室

スポーツと学習の両立を狙いとして区内塾と連携して開催

i 協力：田園調布ゼミナール

22) 準備教室

- ① 大田区中学校運動部活動モデル事業と連携した新規教室開校
- ② 文化活動面での教室開校の検討
- ③ 英語で eSports 教室

(4) ヤマトフォーラム運営管理事業

- 1) アリーナ年間稼働率 95%、トレーニングジム利用者年間 7000 人目標
- 2) 企業と地域を繋ぐ施設として有効活用を推進
- 3) 地元プロバスケットボールチームとの連携強化

(5) (一社) おおたスポーツコミッションとの連携事業の推進

- 1) Ota Sports United Project 構想の推進
- 2) バスケットボールの街大田区プロジェクトの推進
- 3) 中学校運動部活動の地域移行受け皿づくり
- 4) ゆいっつベースキャンププロジェクト
- 5) イトヨーカドー「ナナハト学校」

(6) 都立高校施設開放事業との協働事業の推進

- 1) 蒲田・雪谷高校と連携し運動施設の優先的使用による拠点化で、地域社会貢献事業として有効的連携と活用を推進する。
- 2) エンカレッジスクール支援で講師を派遣した授業科目と学校及びピ

- ポットフットとの間でより地域に密着できる有機的連携を提案する。
- 3) 蒲田・雪谷高校と連携して各高校を拠点とした地域スポーツクラブ育成のモデルとして運営する。

(7) **セミナー・研修事業**

- 1) バスケットボール指導者講習会
- 2) 医科学・栄養学・トレーナー等セミナー
- 3) 部活指導員研修会

(8) **イベント企画・運営事業**

- 1) 大田スポーツまつり（体育の日）大田区体育協会主催事業に参加
- 2) 区民ふれあいフェスタ大田区主催事業に参加
- 3) 一般社団法人大田観光協会等地域団体との協働事業としてのスポーツイベントを検討
- 4) 教室事業以外で区民の交流を目的とした定期的イベントを企画

(9) **人材協力事業**

- 1) 蒲田高校エンカレッジ授業に2人の専門市民講師協力（バスケットボール、クロスミントン）
- 2) 蒲田高校と雪谷高校の運営連絡協議委員をとして協力
- 3) （一社）全国スポーツクラブコミッション、（一社）東京スポーツクラブコミッション、（一社）おおたスポーツコミッションに人材協力
- 4) 障がい者団体や支援学校、中学校部活動への指導者派遣
- 5) Bear foot corporation「学童保育事業」に指導者派遣
- 6) 他団体・NPO等への各指導者協力

2. **収益事業**

- 1) ヤマトフォーラム運営受託でより地域密着の運営を行う
- 2) バスケットボールフリータイム等各種イベント事業の企画実施

3. **全国スポーツクラブコミッション他との事業的展開と協働事業の検討**

- 1) 全国スポーツクラブコミッションと連携しスケールでの事業活動を検討
- 2) 東京スポーツクラブコミッション、大田スポーツコミッションとの連携で地域でのスポーツインフラの構築

4. 活動拠点の確保と組織の充実および人材育成強化

- (1) 運営スタッフの充実と教育及び役割分担と連携の強化
- (2) 組織ガバナンスとコンプライアンスの徹底
- (3) 部活動技術指導者および管理者の質と量の充実と教育
- (4) 大学との協働で指導者インターシッパ制度導入を検討

5. 広報活動

- (1) ホームページ他 IT の有効活用での積極的な情報発信
- (2) リーフレットや定期広報誌の発行
- (3) 各メディアへ積極的なPR活動

6. 営業

- (1) オフィシャルスポンサー等協賛企業の募集

7. 総務・財務

- (1) 財務基盤の強化
 - 1) オフィシャルスポンサー等協賛企業の募集
 - 2) 賛助会員の入会促進
 - 3) 寄付募集の検討

- (2) 規約等の充実

2026年度特定非営利事業にかかる活動予算書

2026年4月1日から2027年3月31まで

科 目	金 額		
I 収入の部			
1 受取会費 入会金・会費	3,000,000	3,000,000	
2 事業収益 スポーツ教室事業 ヤマトアリーナ受託事業 イベント事業他	55,000,000 19,000,000 400,000	74,400,000	
3 委託・補助金等収入 大田区部活動指導業務委託 大田区中学校施設開放業務委託 民間事業助成金	245,558,000 5,162,000 0	250,720,000	
4 協賛金			
5 寄付金		0	
6 雑収入	0	0	
当期収入合計(A)			328,120,000
前期繰越収支差額		30,377,000	30,377,000
収入合計(B)			358,497,000
II 支出の部			
1 事業費 スポーツ教室事業 ヤマトアリーナ受託事業 大田区部活動指導業務 大田区中学校施設開放業務 イベント事業他 助成金事業	44,000,000 17,100,000 188,303,000 4,900,000 300,000 0	254,603,000	
2 管理費 給料手当 印刷製本費 会議費 旅費交通費 通信費運搬費 消耗事務用品費 水道光熱費 修繕費 賃借費 新聞図書費 情報処理費 保険料 諸会費 租税公課 リース料 支払手数料	12,800,000 200,000 1,000,000 900,000 600,000 1,000,000 456,000 800,000 5,688,000 100,000 2,300,000 1,130,000 300,000 20,000,000 1,196,000 1,000,000		
雑 費	300,000	49,770,000	
3 予備費	500,000	500,000	
当期支出合計(C)			304,873,000
当期収支差額(A) - (C)			23,247,000
次期繰越収支差額(B) - (C)			53,624,000